

中央家保便り

平成29年5月発行
沖縄県農林水産部
中央家畜保健衛生所
南城市大里字平良2505
TEL
(098) 945-2297
FAX
(098) 945-3467

平成29年度 中央家畜保健衛生所 転勤者・新採用職員を紹介

所長 高吉 克典

日頃より当家畜保健衛生所の業務にご理解とご協力いただき感謝申し上げます。さて、4月の定期人事異動より9人の職員が着任いたしましたので紹介させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

4月より新たに転勤者7名、新採用職員2名を迎えました。



3度目の赴任になりますが、班長としては初めての赴任になります。よろしくおねがいします。（屋富祖）



12年ぶりに中央家保へ戻ってきました。生産者の皆様とともに飼養衛生管理基準に基づく家畜防疫衛生対策を頑張りましょう。（砂川）



10年振りの中家保勤務となりました。初心を忘れず従事したいと思えます！（高木）



久しぶりの家保勤務に、戸惑うことも多いですが、少しでも生産者の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い致します。（伊佐）



北部家保から転勤になりました。日頃のちょっとした疑問も一緒に考えていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します（柿田）



鶏・蜂担当になりました鈴木です。中家保勤務は初めてですが、今度ともよろしくお願いいたします。（鈴木）



これからよろしくお願い致します。（金城）



臨任から引き続き、新採用として中央家保に着任しました。豚担当になりましたので、去年を思い出しながら頑張ります（新採用：長濱）



いたらない所が多いかもしれませんが、頑張りますので宜しくお願いします。（新採用：井村）

主な担当業務

(転:転入、新:新採用、再:再任用、嘱:嘱託)

防疫企画班		主な担当業務
班長	屋富祖 昇(転)	防疫企画班の総括、出納員等
庶務	金城 幸代(転)	予算経理総括、給与・旅費・文書管理等
防疫総括	砂川 隆治(転)	家畜伝染病予防事業の総括
	小田 葉子	ヨーネ病、結核病、ブルセラ病検査、牛流行熱等抗体検査
	鈴木 萌美(転)	鶏に関する検査、腐蛆病検査
	戸田 綾子	導入豚着地検査、牛予防注射、馬伝染性貧血検査
	井村 博丸(新)	県外導入牛検査

衛生振興班		主な担当業務
班長	仲村 圭子	衛生振興班の総括等
衛生総括	高木 和香子(転)	病性鑑定、衛生事業の総括、養豚衛生獣医療体制整備事業
	伊佐 健次(転)	獣医事・動物薬事、牛白血病検査
	柿田 朝香(転)	鶏卵衛生対策事業
	長濱 克徳(新)	豚に関する検査
振興総括	比嘉 喜政	畜産環境保全に関すること
	城間 友子	共進会、家畜改良増殖に関すること
	新田 宗博(再)	飼料に関すること
	北村 恵(嘱)	BSE検査

職員一同どうぞよろしくお願
いたします!!!

～近隣国における口蹄疫、 鳥インフルエンザの発生状況～

【口蹄疫】

297,808頭もの家畜が犠牲となった宮崎県（平成22年）での口蹄疫発生から4月20日で丸7年となりました。幸い国内での発生はありませんが、韓国、中国などでは発生が継続しています。

【高病原性鳥インフルエンザ】

中国、香港、台湾などの近隣諸国で継続して発生しています。伝染病から家畜を守るために、飼養衛生管理基準を守り、消毒の徹底、不用意に人を立ち入らせないなどの防疫対策を継続しましょう。

「早期発見・早期通報！！！」

以下の症状が見られた場合は、速やかに連絡してください。

【牛・豚・山羊】 発熱、流涎、跛行、口腔内等に水疱やびらん、潰瘍
【鶏など家きん】 死亡羽数の増加、チアノーゼ、沈鬱など

～日本における家畜伝染病の発生状況～

家畜伝染病の発生状況

- 炭疽は清浄化が進展する一方で、ヨーネ病は依然として全国的に発生が確認。
- 口蹄疫は、平成22年に宮崎県で発生したが、平成23年2月にOIEの定めるワクチン非接種清浄国に復帰。
- 牛海綿状脳症(BSE)は、平成13年9月以降、計36例の発生が確認されたが、平成25年5月のOIE総会で「無視できるBSEリスク」の国に認定。
- 豚コレラは、平成5年以降国内での発生は確認されておらず、平成27年5月のOIE総会で「豚コレラ清浄国」に認定。
- 高病原性鳥インフルエンザは、平成28年11月から平成29年3月末までに、青森県、新潟県、北海道、宮崎県、熊本県、岐阜県、佐賀県、宮城県、千葉県で計12件の発生が確認されている。

【主要な家畜伝染病の発生状況^{注1}の推移】

(単位：戸数)

年(平成)	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
口蹄疫	0	0	0	0	0	0	0	0	292	0	0	0	0	0	0	0
結核病(牛)	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
ヨーネ病(牛)	433	439	604	488	606	441	278	313	235	331	211	293	326	327	315	86
BSE(牛)	2	4	5	7	10	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ病(牛)	1	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0
馬伝染性貧血(馬)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
伝達性海綿状脳症(BSE以外)	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0
高病原性鳥インフルエンザ	0	0	5	0	0	4	0	0	1	23	0	0	4	2	7	5
低病原性鳥インフルエンザ ^{注2}	0	0	0	41	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0

資料：農林水産省消費・安全局「家畜伝染病の発生状況」

注1：家畜伝染病予防法第13条第1項の規定による患畜届出件数（ただし、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザは疑似患畜の件数を含む）。

データは平成29年4月末時点。

注2：平成23年4月の家畜伝染病予防法の改正に伴い、高病原性鳥インフルエンザ（弱毒タイプ）は低病原性鳥インフルエンザに呼称を変更。

供用種雄牛として新たに2頭を選抜！

百合桜(ゆりざくら)

【百合茂×平茂勝×紋次郎】

平成23年5月23日産まれ 遺伝病8種は全て正常



増体に自信あり、枝重育種価 + 81kg

「百合桜」は後代検定において平均枝肉重量**472kg**と歴代1位の記録を達成しました。また、枝重・ロース・バラ厚・BMS(サシ)の4項目の育種価で、現在ご愛顧頂いている県有気高系種雄牛の「勝群星」を大幅に更新しております。

産子は体高の発育に優れ、しっかりした体上線が特徴です。体高の改良を必要とする母牛や、枝肉結果で特に相性が良い田尻系母牛への交配をお薦めします。

桜大福(さくらだいふく)

平成22年12月13日産まれ 遺伝病8種は全て正常



【北乃大福×北国7の8×隆桜】

北乃大福の後継種雄牛を選抜

「桜大福」は田尻系の種雄牛としては珍しく体高を含めた体積が期待できます。産子の体高は同期の「百合桜」同様に非常に良好で、枝肉はロース芯・バラ厚・歩留まりに優れます。

「桜大福」は脂肪交雑育種価が低めのため、「北福波」のような脂肪交雑に秀でる系桜系母牛との相性が良く、血統の分散と体積の改良に利用できます。

供用種雄牛へ選抜された種雄牛とB級種雄牛の凍結精液価格が、平成29年7月1日から下記の価格(税込)へ改定されます。

7月以降に「百合桜」「桜大福」の精液を購入された方に限り、「北百合平」の精液を無償譲渡いたします。

百合桜	540円(B級)	→	1,620円(A級)	H29選抜
桜大福	540円(B級)	→	1,620円(A級)	H29選抜
その他B級	540円(B級)	→	1,080円(B級)	後代検定中

※ 「北百合平」の無償精液は予定本数に達し次第、配布を終了します。
お問い合わせは、管轄の各家畜保健衛生所または家畜改良協会まで。